

琴光喜、大嶽親方を解雇



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東 奥 日 報 社
電話 017-739-1111
(C) 東奥日報社 2010

インターネット
号外

購読の
お問い合わせは

東奥日報社読者局
017-739-1111
FAX 017-739-1111

24時間受付

賭博問題で角界追放

相撲協会が臨時理事会

日本相撲協会は4日、名古屋市内のホテルで臨時の理事会を開き、野球賭博に関与した大関琴光喜(34)〓本名田宮啓司、愛知県出身、佐渡ヶ嶽部屋〓と大嶽親方(42)〓本名納谷忠茂、元関脇闘力、兵庫県出身〓を解雇処分とすることに決めた。最も重い除名ではなかった。

角界からは永久追放となる。現役大関の解雇は史上初めて。賭博問題を調査する特別調査委員会(伊藤滋座長〓早稲田大特命教授)は、琴光喜関については大関の立場にありながら野球賭博にかかわり、大嶽親方は常習性があったことと問題視。さらに2人も相撲協会の事情

聴取に虚偽の説明を行ったことで、解雇か除名の勧告をしていた。相撲協会は6月28日の臨時理事会でこれを受け入れた。これで相撲協会から解雇された親方と力士は、大麻問題や力士暴行死事件での大量処分などを含め、計11人となった。

詳細は朝刊で



大相撲の野球賭博問題で、臨時理事会に臨む大嶽親方(左)と大関琴光喜関=4日午後、名古屋市内のホテル